

# 7.23 関西新空港反対闘争へ

## 関西住民と連帯して闘おう

地元泉州周辺の住民の空港絶対反対の声を無視して強引に着工を開始した関西新空港は、ここに来て大きな行き詰まりをみせています。「国の決めたことだから反対してもムダ」「反対してももう遅い、ムダだ」とばかりに高飛車にことにあたってきた大阪府は、海上空港と陸地を結ぶ連絡道路の用地買収が地元住民の強い抵抗と反対運動にあつて完全にデッドロックに乗りあげていることに悲鳴をあげています。買収価格の決定・発表からすでに半年が過ぎていくにもかかわらず、買収できた土地は全計画のわずか二割にすぎないのです。

そもそも連絡道路は、海上空港である関西新空港の生命線であり、これが完成しなければ、海上空港は機能しません。規模的にみても幅一〇〇m、長さ六キロにも及ぶ長大なものであり、小手先だけの技だけにかわせるものではないのです。「九三年開港」に間に合うための連絡道路用地買収のタイムリミットは、今年九月末だと言われてお

ります。だからこそ大阪府は、地元反動派をも動員して、ありとあらゆる人と物と金を投入しながら地元住民の切り崩しにやっきとなっているのです。三里塚がそうであるように、切り崩しのためなら手段を選ばずで、ウソあり、デマあり、恫喝ありのオンパレードです。関西新空港は、リクルートやN.T.Tと同じ中層根の「民間活力導入の目玉商品」で巨大な利権を生み出す軍事空港で、六兆円にものぼる建設費にからんで政・財界入り乱れてし烈な利権争いが行われています。汚職は自

民党はおろか公明党をも含めて進行しているのが現状です。われわれ動労千葉は、東の三里塚・西の関西新空港をふたつをひとつとしてこの間闘いに連帯して闘ってきました。七月二三日には、大阪湾岸住民五団体の呼びかけによる、関西新空港反対全国集会が大阪・泉佐野でもたれます。不屈の泉州住民と固く連帯して総決起しようではありませんか。

◎ 闘争参加者は、必ず参院選不在投票をさせること。

訃報  
勝浦支部組合員鈴木昭司さん(三十二歳)は、病氣療養中のごとく薬石効なく七月十五日十九時二十四分急逝いたしました。謹んで哀悼の意を表します。

告別式 七月十九日正午



### 争団連統一 行動に参加 不当逮捕に 反撃!

七月十二日、争団連(争議団連絡会議)統一行動が取り生まれ、青年部三名が参加した。この日は、中野総合病院団交要求↓品川臨職団交要求と都内三か所をかけた。この統一行動の契機は、五月九日、品川臨職闘争(品川臨時職員佐久間さんの解雇撤回闘争)に対

し、三名が不当にも逮捕されたことに、現場から反撃を行ったものである(不当逮捕された三名の各争議現場の行動であり、三名は未だ警察に拘留・接見禁止されたままである)。「ひとりの首切りも差別も排除も許さないと闘う争議団の闘いは、本当に学ぶべきことが多い。今年十一月の総評解散「連合」の官民「統一」を許さず、真に労働者の権利を防衛・発展させていくために、さらに争議団に結集して闘う仲間との連帯・共闘を強化していこう!